



SAIE かわら版

Settsu Association for International Exchanges

摂津市国際交流協会



第81号

2020年11月発行

日本語支援ボランティア養成講座 ～ステップアップ編～

日程：2020年11月12日、19日、26日（木）
午後2時～4時（全3回）

参加者募集

場所：コミュニティプラザ 会議室1、2

講師：澤田 幸子さん（日本語教師、おおぞら日本語サポート）

対象：日本語を教えた経験や、学習したことのある方

定員：16名 参加費：無料（1回のみ受講も可）

申込み：協会まで電話で受付



第1回 11月12日（木） 午後2時～4時	社会が変わる、地域日本語教室も変わらなくちゃ！ ～改めて考えよう、地域日本語教室の意義・ボランティアの役割～ 「多文化共生社会」「生活者としての外国人に必要な日本語」について。
第2回 11月19日（木） 午後2時～4時	外国人とのコミュニケーション～「やさしい日本語」の達人になろう～ 日本語学習支援における「やさしい日本語」の効果を知る、など。
第3回 11月26日（木） 午後2時～4時	おしゃべりで日本語が上手になる?! ～対話型活動のやり方～ 「自分を語る=自己表現」活動がなぜ大切なのか考えてみる。



初心者のためのWEB講習会 ～ZOOMなどの使い方～

参加者募集

昨今のコロナ禍で会議や各種教室の開催に制約が設けられている中、新たにオンラインでの活動が増えてきています。当協会もオンラインでの日本語教室や各種セミナーへのリモート参加も検討中です。今回はWEB会議で広く使われているZoomなどの会議アプリの使い方や活用例を、初めての方にも分かりやすく教えてもらいます。

日程：2020年12月10日（木）午後1時半～3時半

場所：コミュニティプラザ 会議室4

講師：橘 明日香さん（モバイルエール代表）

対象：ボランティアおよび国際交流に関心のある方

定員：16名 参加費：無料

（Zoomでの参加も可能ですが、予約が必要です）

*スマホやタブレットをお持ちの方はご持参ください。

会議室はインターネット環境が整っています。

申込み：協会まで電話で受付



講師のプロフィール

橘 明日香さん モバイルエール代表
前職の経験を活かし、ホームページ・印刷物デザイン制作 モバイルエールを立ち上げる。

2児の母親としての時間的制約をバネに生み出した独自の視点での「ソーシャルメディアを活用した『インターネットコミュニケーション集客術』」が評判となり、昨今はネット初心者の個人事業様向け様々な地域の商工会議所・商工会の起業塾・経営塾のWEB活用セミナー講師やミラサポ・ITサポーターとしても活動中。

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、予定を変更する場合があります。

<結果報告> 国際理解講座 ～私の国・リトアニアの文化紹介～

2020年9月10日（木）午後2時～3時半

コミュニティプラザ 会議室1、2 21名参加

講師：オーゼロヴァ アナスタシーアさん



【自己紹介】

以下の内容でお話していただきました。

英国マンチェスター大学卒業。大阪大学大学院で修士位取得、博士後期課程で在学中。ソプラノ歌手、モデルで活動中。

(YouTubeで彼女の美しい歌声を聞きました)

【どんな国?】

バルト3国の中で一番南の国。西はバルト海に面す。

首都；ヴィリニユス。

面積；65200km² (世界120位)

九州、四国、山口、島根の合計とほぼ同じ。

人口；280万人。1991年9月ソ連から独立。

主な観光地、世界遺産トラカイ、リトアニア最大の巡礼地「十字架の丘」

【文化紹介】

スポーツでは特にバスケットボールが盛ん。

ソウル五輪で金メダル。スイミングも強い。

郷土料理は冷たいボルシチ、キビナイ（羊肉と玉ねぎのペーストリー）、ソエヘリナイ（ジャガイモの中にお肉）。料理は栄養豊か。

お酒はMIDUS（ハチミツのリキュール）。肥満率は低い。

Xmasはロシアと同じ1月6日～7日。

【日本との関わり】

杉原千畝が総領事として6千人のユダヤ人にビザ発行して、彼らの命を救った。当時の領事館がそのまま杉原千畝記念館として保存。



アナスタシーアさんは素敵な方で、日本語がとまも上手で、お話も優しく語りかける様でした。大変楽しい時間になりました。

才色兼備な方ですね。歌（オペラ）がとまも良かったです。コンサートに行ってみたいです。

この大変な時期に多くの方々にお越しいただいて、リトアニアに興味を持っていただき嬉しかったです。この機会、ありがとうございました😊これからも様々な国の発表が楽しくいきますように。

アナスタシーア

<Web講座参加報告> やさしい日本語研修 第1回「防災」 OFIX（大阪国際交流財団）主催

2020年9月29日（火）午後1時半～4時半

コミュニティプラザ 会議室5 ボランティア9名参加（うち1名自宅受講）

講師：土井 佳彦さん（NPO法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事）



外国人住民のための避難生活ガイドブック。やさしい日本語で説明しています。

日本には約300万人、200カ国以上の外国人が在留し、多国籍化・多様化しています。そのの方々にも分かる「やさしい日本語」を使うことが重要になっています。

子どもや高齢者にも分かりやすい、初級レベルの日本語で発信する、災害時や行政情報に限らず、普段から意識して相手や場面に応じて使い分けることが大切だと学びました。

例えば、
・ 召し上がる→食べる。
・ 土足厳禁→くつをぬいでください。
・ 高台に避難する→高いところへ逃げる。
・ 倒壊する→こわれる。
・ 行方不明→どこにいるかわからない人

など、たくさんの練習問題でコツをつかみました。色々な言い換えがあり正解はない、伝わればOK! とのこと。自信が持てました。またVoiceTra(無料多言語音声翻訳アプリ) や色々なガイドブック情報も頂きました。

人それぞれの言い方がわかってよかった。「お知らせ」などの書き方を変えたい。



日本語教室から
こんにちは！

イニク
WEL NAJMAN

日本語教室の体験談

私は中国からの留学生です。去年9月末に日本にきました。

友達からの紹介で日本語教室を知りました。学校で日本語を話す以外に、日本人と話す機会が少なくないので、日本語に参加しました。

いま、スピーキングとヒアリングが上手ではありません。とくに、頃から広まった新型コロナウイルスで、自宅でオンライン授業を行っていたので、新しいクラスメイトが付き合えなかったし、リアル対面ができなかったし、家にこもるようになって、心とくたびれりと思っていました。

それで、日本語で日本人と話す機会が少なくなりました。日本語教室に通って、日本人と知合いの交流ができました。これは本当に嬉しかったです。すべての先生がやさしくて、やさしく話し合いました。もし聞き取れなかった場合でも、わかりやすく丁寧に、先生はペンで書いてもらいました。また、日常生活から文化、歴史などさまざまな話題で会話が盛り上がりました。日本語教室で学習するのが楽しくて、自信を持って日本語を話すことができました。

コロナ渦でいろんなことが大変になって、日本語教室の先生がいろいろ助けの言葉を、声かけありがとうございます。だから、日本語教室に参加することができて、これからも一生懸命に日本語を学習しています。

私は、中国・北京の出身だ。家族に、父、母と私、三人がいる。大学の時、北京建築大学に通っていたが、専攻は空間情報システムだ。大学を卒業してから、地元の都市計画会社に勤めていた。二年後の2018年に、留学を決めた。そして、仕事を辞めて、日本に来た。来日の目的として、1つは、日本語を勉強し、日本文化を体験することだ。もう1つは、大学院に進学することだ。それで、東京で日本語学校に通っていた。

2018年から2020年までの二年間、日本語学校で日本語を習ったり、塾で大学院に合格するための専門知識を勉強したりしていた。今は思い出したら、すごく大変な時期だった。でも、自分の努力が無駄になっていなかった。2020年に立命館大学のテクノロジ・マネジメント研究科に受かって、4月に大阪へ引越してきた。

もともと大阪で面白い新生活が始まると思ったが、新型コロナウイルスが急速に日本全国で蔓延してきた。私は、はじめて大阪に来たので、誰も知らないし、どこへも行ったことないし、ずっと家で自粛していた。退屈な日が続いた。ちょうどその時、ネットで摂津市日本語教室のことを見つけた。でも、コロナの影響で教室が休みだった。

7月になると、だんだん感染状況がよくなってきた。日本語教室は再開した。私は期待しながら、教室に参加した。最初は、ボランティアの先生とコミュニケーションをとった時は、自信がなかった。大阪に引っ越しして以来、ずっと自宅で一人暮らしをしてきて、長い間日本語を話すチャンスがなかった。おしゃべりの能力はだんだん減ってきたと実感した。しかし、先生はとても優しいし、いつもゆっくり話してくれた。そして、はっきりした発音で教えてくれたので、自分の心配もすぐに解消した。

日本語教室では、日本語会話の練習だけではなく、先生とのチャットによって、様々な日本文化、歴史も勉強になった。さらに、一人暮らしの留学生として、毎週、教室に参加して、色々な悩みを先生と話すので、寂しさがまぎれた。本当に日本語教室の担当者とボランティアの先生に感謝の気持ちを伝えたい。これからも、教室に参加し続けようと思うが、できたら、他の活動もやってみたい。

コウ ソウショウ
2020.10.20



<結果報告>日本語サロン～遠足～



コロナ渦での久しぶりのイベント、10/29万博公園へ遠足に行ってきた。秋晴れのもと、総勢14人（学習者9名うち子ども2名、ボランティア5名）森のトレインに乗り、お昼ごはんを食べ、ソラドを通過して花の丘へ。色とりどりのコスモスが見事に咲き誇っていて、珍しい赤そばの花も。近況を話し合ったりして楽しかった！

何年かぶりに来て下さった学習者さんもいて、また日本語サロンに行きます、とのことでよかったです。（大川）

つながりのあるまちづくりに向けて

摂津市国際交流協会 副会長 前田清一郎
(摂津市自治連合会会長)

近年、市内にお住まいの外国籍の方をたくさんお見かけするようになりました。地域の防災・防犯活動や清掃活動をはじめ、お祭りやイベントの運営など、自治会活動に積極的に参加しておられる外国籍の方がたくさんおられます。

摂津市には、たくさんの企業があり、「産業のまち」という大きな特徴があります。年々、摂津市に働きに来られる外国籍の方も増えてきているようです。そうした方々が安心して働くことができ、安心して暮らせる地域を創っていくためには、今後、自治会・町会が果たす役割が重要になってくるものと思います。

自治会・町会は、自分たちの住むまちを自分たちで良くしていこうと集まった地域コミュニティですが、そうしたコミュニティは、国籍に関係なく誰もが手を取りあって築いていくものでなくてはなりません。

自治会・町会は、日本人も外国人も誰もがつながりを持つきっかけづくりとなる場ではないでしょうか。今後も、地域で暮らされている外国籍の方々と交流を深めていくことができるように、国際交流協会の皆様と一緒に歩んでまいりたいと思います。



協会からのお知らせ <参加者募集> 語学講座の後期が始まります

<友好都市ニュース>

3月にオーストラリア・バンダバーグで市長選挙が行われ、ジャック デンプシー市長が再選されました。当協会でお祝いメールを送りました。

また9月に摂津市でも森山市長が再選されたのを受けて、バンダバーグのジャック市長と、中国・蚌埠市の王誠市長からそれぞれお祝い文書が届き、今後、友好関係を更に深めていくことが重要であるとの考えが一致しました。

今年はバンダバーグとの短期留学が両国で中止になりました。1日も早くコロナが終息し、平穏な生活を取り戻すと共に交流の再開を願っています。

◎中国語講座 2020 12/5 スタート
隔週土曜日 摂津市 正雀市民ルームにて 全8回
初級14:00~、中級15:00~
講師: 苗 勇さん (中国出身)

◎青少年英語講座 2020 12/9 スタート
隔週水曜日 摂津市 正雀市民ルームにて 全8回
初級18:00~ (小学4年~6年生) 中級18:55~ (中学生)
上級19:45~ (高校生~20歳位) クラス応相談
講師: セザール ロドリゲスさん (ポルトガル出身)

◎大人の英語講座 2020 12/7 スタート
毎週月曜日 摂津市 正雀市民ルームにて 全10回
初級 11:10~ 若干名追加募集
講師: メリッサ ウオンさん (カナダ出身)

☆Web講座

やさしい日本語研修 第2回 (OFIX主催) に参加予定
12月22日 (火) 午後1時半~4時半
コミュニティプラザ 会議室 5、6

講座にご興味のある方は協会まで。

*協会事務局は2020年12月28日~2021年1月5日まで年末年始休暇とさせていただきます。

掲載内容に関する お申し込み・お問い合わせ

協会会員を募集しています。

年会費 個人3,000円 家族5,000円

青少年1,000円

法人・団体10,000円 (1口)

当協会の事業に無料または割引で参加していただけます。「かわら版」をお届けし、参加申込みなどを優先的に受け付けます。

摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35

摂津市立コミュニティプラザ2F

TEL: 06-6319-6251 FAX: 06-6318-6004

E-mail: office@settsu-saie.org

URL: <http://settsu-saie.org>

開室時間 平日 10:00~12:00

13:00~16:00 (第4水曜日は休館)